

かわいいお花をたくさん植えたよ！
千株の苗が届きました

11月20日(木)、花キュービッド協同組合兵庫支部から播磨中央保育園にパンジーやゴールドクレストなどの花や木の苗、約千株が贈られ、同日、同保育園の3歳児から5歳児の園児92人とその保護者60人が参加して、花の苗を植えるイベントがありました。

子どもたちは、苗の植え方を花キュービッド協同組合兵庫支部員の方々に教わりながら、真剣な表情で園内の花壇やプランターに植えました。幼児期から花と縁に親しみ、自ら育てることを覚え、花を愛する心を育み、そして何よりも心豊かに健康な体と心をもった子どもに成長してほしいという「花育」の願いのこもった企画です。



▲大切に育てようね

参加した子どもたちは、「お花が大きくなって、ずっと元気に咲いてくれるように、毎日、水やりや草むきをします」「がんばってお世話するのでもた見に来てくださいな」「大きくなったら、お花屋さんになりたいです」「お花畑みたいな、きれいな町になりました。」「たうれいな」と楽しそうに話していました。

役場庁舎の防火訓練を実施



▲日ごろの備えを確認

11月29日(金)に、もしもの火災に備えて役場の防火訓練を実施しました。給湯室からの出火を想定した、館内放送や初期消火訓練。消防への通報。来庁者や職員の避難路の確認。消火栓にホースをつないで開栓し、実際に放水を行ったり、水消火器を使用したりする実践訓練を加古川消防署播磨分署の指導のもとで行いました。また、訓練先立って行った消防班の人員と役割の確認、消火施設や防火扉の点検など、日ごろの備えを確認する機会とし、職員一同が防火に対する意識を新たにしました。

東播磨ふれあいネット(BAN-BANテレビ 11チャンネル)
播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

1月の放送予定 (収録場所 高砂市)

前半 1月5日(月)~18日(日)

- 特集 であい・ふれあい・まなびあい ことぶき大学(播磨町)
- ふれあいインフォメーション(各市町からのお知らせ)

後半 1月19日(月)~2月1日(日)

- 特集 いざというときに備えて 建物共済に加入しませんか(加古川市)
- ゆうゆうライフ(播磨町)

放送時間(第1・3月曜日の①以外は再放送)30分番組

- 月・水・金 ①午前10時 ②午後2時 ③午後7時30分 ④午後11時30分
- 火・木 ①午前9時30分 ②午後4時 ③午後9時30分
- 土・日 ①午前8時 ②午前11時30分 ③午後5時 ④午後9時

いいね!
はりま

町政
レポート
No.24



▲土山駅南側の空き地を暫定的に開放

星も凍えるような寒い冬空を見て、ホッと胸をなでおろしているのは私だけでしょうか。地球温暖化が叫ばれる中で、暖冬よりも「日本の冬はやはりこうでない」と寒さ歓迎の厚着でウォームピズに努めたいと思っています。

◆土山駅南(テルペン跡地)の一部がご利用いただけるようになりました。複合交流センターが実現できないまま、空地のまま放置せざるをえない状況の中で、跡地の暫定利用を模索していましたが、この度その一部(1600㎡)を整地しました。軽スポーツ・イベント・健康づくり・野菜などの青空市・フリーマーケットなどいろいろなアイデアを出していただいでご利用いただければと思っています。申し込みや鍵の受け渡しなど、管理は「スポーツクラブ21はりま」に委ねたいと思っています。今回は暫定的な土地活用ですので、使用料金は無料とと考えています。年明けからの利用となる予定ですが、利用条件等詳細が決まりましたら、現地の看板などでお知らせします。新たなふれあいの場として、ご活用いただければ幸いです。

◆11月30日播磨町学童保育連絡協議会が「第3回はっちゃん!! わんぱくまつり」を開催しました。真冬の寒さにも負けない元気さで、晴天のもと、蓮池小学校の運動場や体育館などに大勢の親子づれが参加して賑わっていました。播磨町ではすべての小学校に学童保育所があり、年々利用者がうなぎのぼりとなっています。行政も少しでも放課後の保育環境を改善すべく、学校敷地内に学童保育専用施設としてプレハブ建設を順次行ってきましたが、急激に増え続ける需要に追いつかない現状です。これまで運営を担ってきた連絡協議会もそれを支援してきた行政も、今後学童をどう運営していくべきか、大きな課題を背負った年となりそうです。

播磨町長 清水ひろ子

わんぱくまつり



つざき ゆうわ
津崎 優和くん(1歳)

上野添

いっぱい遊んで、たくさん笑おうね
父、母より



募集

このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話をお願いします。

楽屋裏

ケーブルテレビの取材で、ことばき大学を訪れました。17ページに学生募集を掲載している通り、町内の60歳以上の方を対象とした高齢者大学です。クラブ活動や学習の成果を発表する大学祭や、教養課程の授業、専門課程のまち歩きにも一緒に参加していただきました。大学祭や休憩時間には、はじけるような笑い声があちらこちらから沸きあがっていて、どなたにお話を伺っても、「楽しくてしかたがない」という言葉が出てきます。同級生の集まりって、そういうものですよ。一方、講義は真剣そのもので、講師の話をつなずきながら聞き入っていました。私も1講義を受けてみて、やはり学ぶことは楽しいと感じました。(宮)

平成20年度播磨町技能職者表彰

播磨町技能職者表彰は、高い技術を持って永年にわたってその職に従事し、地域社会の発展に貢献した方を表彰するものです。平成20年度表彰式は、11月17日(月)に町長室で執り行い、次の4人の方に表彰状を贈りました。

中作 正公さん(北古田) 水道工事業

2級土木施工管理技術士他多数の免許を有し、37年10カ月に渡って水道事業に専念し、従業員への指導に力を注ぎつつ、播磨町上下水道工事業協同組合において副理事長として組合運営に貢献されています。

高橋 國夫さん(東野添) 鉄筋業

見習い職人として、昭和34年に伊藤鉄筋にて勤めた時代に人一倍努力されて独立。ビル建設や木造基礎を中心に仕事に励み、安全管理における行き届いた配慮と、誠心誠意を持って勤める仕事ぶりは他の職人の範とするところ。東播建設労働組合において、技術の伝達と職人の社会的地位向上のため尽力されています。

粉川 日出生さん(北野添) 洋裁

昭和43年から中谷洋裁学校で洋裁技術を身につけ、昭和58年から個人注文、リフォームの仕事を始めました。平成17年国家検定婦人子供既成制服パターンメイキング作業1級技能士及び婦人子



▲確かな技術で町を支える受賞者の皆さん

供注文製作1級技能士の資格を取得し、さらに、職業訓練指導員資格の認定も受けられるなど、職人としての技術の向上に努めています。その作品が数々のコンクールで賞を獲得しているだけにとどまらず、技能体験指導やファッションショーの実行委員を務めるなど、広く洋裁業界の発展に寄与しています。

松井 昭雄さん(二子) 豆腐類製造

大学卒業後24歳で家業である豆腐店を後継し、祖父が大正10年に創業した老舗を守っています。試行錯誤を重ねながら湯葉などの創作を試み、産地伝統の物産品を愛用することなく吟味し多くの新商品の開発を続けています。兵庫県食品衛生大会においては食品衛生優良施設賞を2度受賞、(財)食品産業センターからは会長賞を受賞されています。